

第7章 JSRデータ交換フォーマット

JSRフォーマットの検討に関しては、先にスポーツ用品情報システム研究会（略称：S研）ワーキンググループにおいて作成されたS研フォーマットPC版をベースにJSRスポーツ用品小売店にとって、簡単に導入できることを前提に再度S研ワーキンググループの協力の下に策定した。

なお策定するにあたって以下のことを考慮した。

- ・メーカー、卸とJSRスポーツ用品小売店間のデータ交換を前提にしていること。
- ・JANコードの利用が前提であること。
- ・商品分類コードは、JICFS分類コードの利用を前提にしていること。
- ・データ交換に関して、スポーツ用品小売店側は必要最小限の作業に留めること。
- ・データ交換フォーマットについては、JSRスポーツ用品小売店にとって必要最小限度の項目に限定したこと。
- ・データ交換手段は、経済性と容易性を考慮すること。

1. データ交換の活用ポイント

データ交換は提供元（メーカー、卸）と小売店の双方にメリットがあるのでシステム導入後は是非採用することを薦める。

なお、下記に具体的活用ポイントを記述する。

データ種別	活用ポイント
商品マスター情報	<p>（小売店）</p> <p>(1)膨大な種類の商品に関する情報を標準形式により取り扱いができる。…情報精度維持が可能となる。</p> <p>(2)JANコードを異企業間を結ぶ唯一のユニークなキーとして使用できる。</p> <p>(3)メンテナンス工数の省力化、標準形式の利用が更に効果を増幅する。</p>
仕入(納品)情報	<p>（小売店）</p> <p>(1)納品書情報のデータによる迅速、正確な入手。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕入検品は納品書で行い、入荷処理はインプット作業軽減のためにこのデータを利用する。 ・仕入入力 of 省力化 ・発注情報消し込みメンテナンス ・自社在庫管理への利用 <p>（納品側）</p> <p>(1)納品書情報のデータによる迅速、正確な伝達。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意先仕入検収の促進、支援 ・納品書とのダブルチェックによる納品精度向上 ・請求業務の円滑化

データ種別	活用ポイント
POS情報	(小売店) (1)リテールサポート情報が提供される。 (2)商品のリードタイムの短縮。 (3)チャンスロスの排除。 (4)品揃えの充実。 (5)商品回転率の向上。 (納品側) (1)消費者ニーズへの迅速な対応。 (2)リテールサポートの充実。 (3)商品開発の迅速化。 (4)過剰在庫の排除。 (5)ムリ、ムラ、ムダの排除 (サプライチェーンマネジメントの構築)

2. 商品マスター提供手順

商品マスター提供に関して、メーカー、卸において1社1社へのマスター提供は多大な作業の負担になる。ゆえに将来的には商品マスター提供のセンターが構築されることが望ましい。しかし当面は現実的方法でメーカー、卸と小売店との1対1の対応を進める。

商品マスター提供手順

書面での依頼

小売店は商品マスターの提供依頼の場合は表 7-1 の商品マスター提供依頼書を使用する。

依頼順序

依頼小売店より提供元担当部署(営業部署)にFAX/郵送もしくはEメールにて依頼することとする。

・注意事項:

商品マスター抽出条件並びにセレクト条件は、小売店の一方的必要条件を要望するのではなく、提供元(メーカー、卸)企業とよく協議のうえ、進める。

データの受け渡し

(イ)方法

- ・電子メール(Eメール)添付
- ・媒体使用(FD,CD-R)

(ロ)データフォーマット

- ・J S R商品マスターフォーマット

(ハ)データ内容

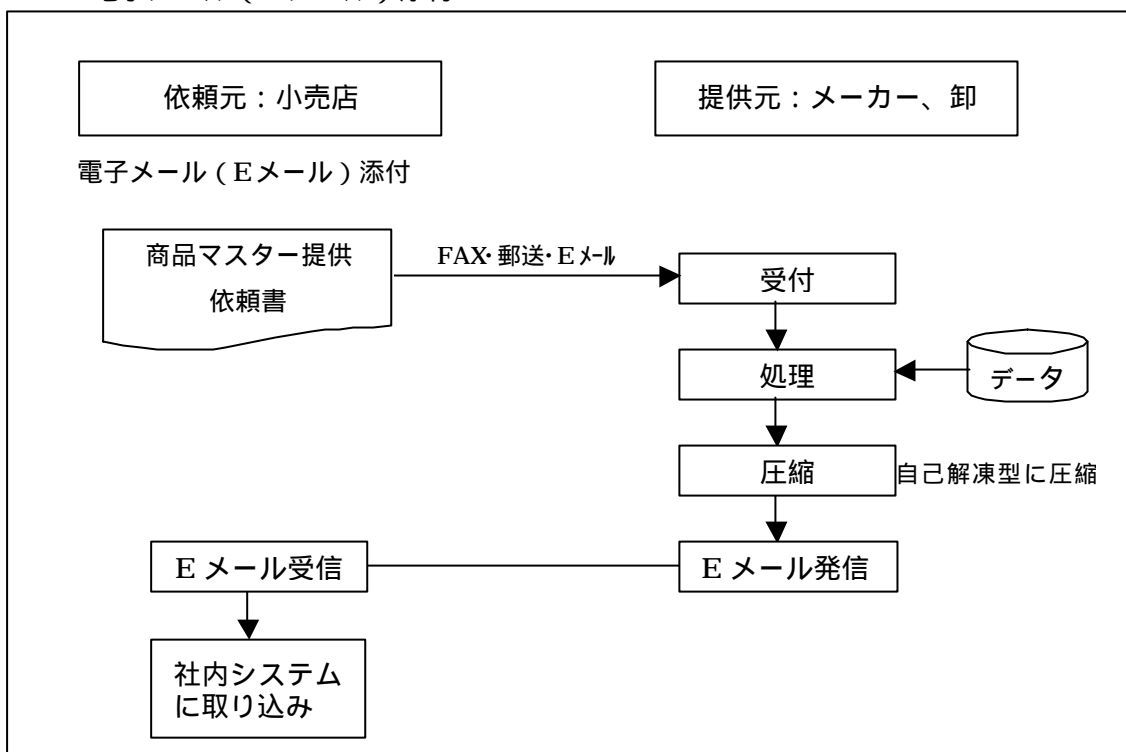
- 3.2(1)商品マスター参照

【表 7-1 商品マスター提供依頼書】

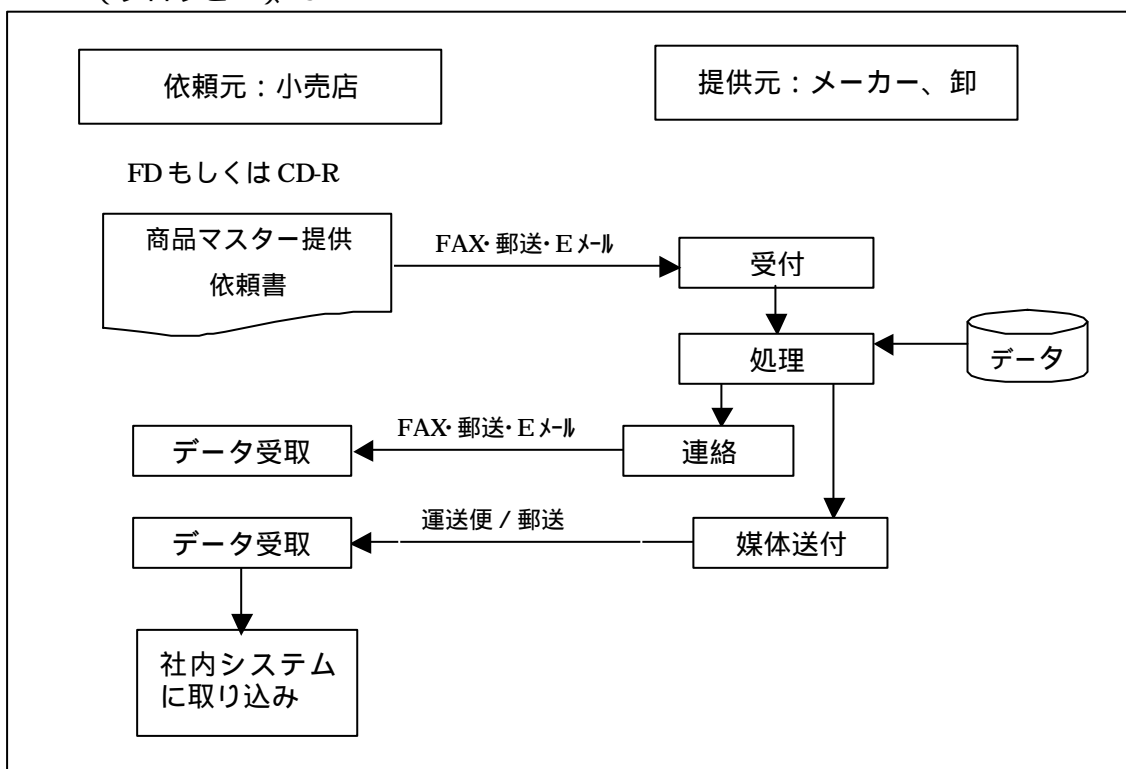
商品マスター提供依頼書			No
・依頼企業		・提供企業名	
・担当部署		・担当営業部署	
・担当者名		・担当者名	
・TEL	() -	・TEL	() -
・FAX	() -	・FAX	() -
		(統括部署)	
・依頼年月日		・受付年月日	
・受取希望日		・提供年月日	
・受取部署		・データ作成部署	
・受取者名		・作成者名	
・Eメールアドレス		・Eメールアドレス	
・TEL	() -	・TEL	() -
・FAX	() -	・FAX	() -
・データフォーマット	J S R商品マスターフォーマット (CSV : テキスト)		
・受取方法	・Eメール添付 ・FD ・CD-R		
・抽出条件			
・モデル年度			
・シーズン	1.全部 2.春夏物 3.秋冬物 4. その他 ()		
メーカー・ブランド			
・メーカー	・ブランド		・セレクト条件
・備考			

(1) データ交換の流れ図

電子メール (E メール) 添付



FD (フロッピー)、CD-R



(2) 障害対応

電子メール未着信

・電子メール添付

電子メール添付の場合は提供元では依頼元小売店への着信が確認できないため、依頼元小売店に届いていない場合が考えられる。

このような場合を想定して、依頼元小売店と提供元で対応策を取り決めておく必要がある。

・媒体使用

媒体使用の場合は連絡メールが未着信でも媒体が発送され、媒体到着でデータ提供となる。

読み出し不能

データ伝送、もしくは媒体送付したものが読み出し不能の場合には依頼元小売店より提供元企業のデータ作成部署に連絡、協議のうえ対応を図ることになる。

3. JSRデータ交換フォーマットとデータ内容

3.1 データ交換の定義

(1) データ交換フォーマットは基本となる下記の2つを定義する。

商品マスター

納品データ

POS売上データについては、あくまで参考とする。

(2) ファイルの保存形式は、全てテキスト形式とし、ファイル名は下記のルールで付けるものとする。

商品マスター JSRメーカー略号 + SKSMD.TXT

納品データ JSRメーカー略号 + SKNDM.TXT

POS売上データ JSRメーカー略号 + SKPUM.TXT

(3) 各々のフォーマットは固定長とし、レコード長は下表とする。各項目の属性は、全て文字タイプとする。

各項目の指定桁数(バイト数)は全て半角を基本とする。未使用項目および項目の指定桁数に満たない場合は下記のルールに従い、項目の桁ずれを防ぐものとする。

	レコード長
商品マスター	215バイト
納品データ	235バイト
* POS売上データ	179バイト

3.2 各種フォーマット項目と内容
(1) 商品マスター

ファイル名 JSRメ-カ-略号+SKSMD.TXT

ファイルの保存形式は、TXT形式とし、半角215バイトの固定長とする。属性は全て文字とし、未使用項目もスペースないしゼロ(0)で埋め省略しない。

NO	項目名	属性	バイト数	開始位置	終了位置	必須項目	格埋め	説明
1	レコード区分	文字	1	1	1		スペース	B:固定
2	データ区分	文字	2	2	3		スペース	60:固定
3	取引先会社 部署コード	文字	13	4	16		スペース	取引先コード(0-9)の10桁(ゼロナンバ-)
4	取引先企業 部署略名	文字	20	17	36		スペース	取引先企業略名
5	メ-カ-略号	文字	3	37	39		スペース	JSR指定メ-カ-略号
6	JANコード	文字	13	40	52		スペース	JAN EAN・UPCコード(0-9)の12桁(ゼロを除いたもの)
7	メ-カ-品番	文字	10	53	62		スペース	メ-カ-が使用している品番(カタロギ・商品カ-・商品マスタ・納品書表記と一致してること)
8	品名	文字	25	63	87		スペース	品番に対応する品名(半角のみ)
9	商品略名	文字	15	88	102		スペース	メ-カ-商品略名(納品書表記・小売店でのレシート表記用)
10	ブランド略名	文字	10	103	112		スペース	商品メ-カ-がつけているブランド略名(半角のみ)
11	カ-コード	文字	10	113	122		スペース	JANコードに対応する単品(品番・カ-・サイズ)の1桁(カ-コード・カ-名・カ-略号等)
12	サイズコード	文字	10	123	132		スペース	JANコードに対応する単品(品番・カ-・サイズ)の2桁(サイズコード・サイズ略号等)
13	カ-呼称等	文字	10	133	142		スペース	カタロギ・商品マスタ・納品書表記と一致してること
14	標準上代	文字	7	143	149		ゼロ(0)	メ-カ-規格1がカ-コード・カ-略号の場合に、カ-呼称等 小売標準単位/小売単位
15	取引単位	文字	3	150	152		スペース	取引される時の単位(レ-ド、略号等) #コードは、「参考資料2.」を参照 (商品規格及び単品サイズの単位コード表)
16	最低受注数	文字	4	153	156		ゼロ(0)	取引される時の最低取扱い数(単位は取引単位)
17	取引単価	文字	7	157	163		ゼロ(0)	取引単位当たりの単価
18	JICFS	文字	6	164	169		スペース	JICFS商品分類コード(次中小分類)
19	データ登録日	文字	8	170	177		スペース	その単品をメ-カ-が自社の商品マスタ-に最初に登録した日(西暦8桁)YYYYMMDD
20	データ更新日	文字	8	178	185		スペース	その単品をメ-カ-が自社の商品マスタ-に最後に更新した日(西暦8桁)YYYYMMDD
21	品名2	文字	30	186	215		スペース	品番に対応する品名で漢字を含む2バイト文字(5文字)

215

レコード長

注) 最小小売要素数量

3個を1箱として小売している物についてこれをバラして管理する場合には使用します。

最小小売要素単位の記述については別個の品番として取り扱うことを原則とするので省略します。

小売標準単位情報	品番A(箱物)	品番B(バラ)
小売単位	箱	個
単位構成数	3個	1個
上代	900円	300円

(品番Bは品番Aをバラにしたもの)

(2) 納品データ

ファイル名 JSRメーカー略号+SKNDM.TXT
 ファイルの保存形式は、TXT形式とし、半角235バイトの固定長とする。属性は全て文字とし、未使用項目もスペースないしゼロ (0)で埋め省略しない。

NO.	項目名	属性	バイト数	開始位置	終了位置	必須	補埋め	補足
1	レコード区分	文字	1	1	1		S^A-S	D:固定
2	メーカー区分	文字	2	2	3		S^A-S	21:固定
3	取引先会社-部署コード	文字	13	4	16		S^A-S	取引先コードのローカル化-ジョナサン-
4	取引先企業-部署略名	文字	20	17	36		S^A-S	取引先企業略名
5	出荷先会社-店舗コード	文字	13	37	49		S^A-S	出荷先コードのローカル化-ジョナサン--商品受入先(通常店舗)
6	出荷先企業-店舗略名	文字	20	50	69		S^A-S	出荷先略名(商品受入先店舗名)
7	納品書NO.	文字	10	70	79		S^A-S	納品元-伝票NO.
8	納品書NO.-行NO.	文字	1	80	80		S^A-S	メーカー統一伝票の伝票明細の行NO.(1-8の数字)
9	納品書NO.-列NO.	文字	1	81	81		S^A-S	メーカー統一伝票の伝票明細の上記行での列位置(1-4の数字)
10	伝票区分	文字	3	82	84		S^A-S	納品-返品-値引-値増等の取引の区分(欄外に伝票区分例を表示)
11	受注日	文字	8	85	92		S^A-S	受注日付(西暦8桁 xxxxxxxx)
12	出荷日	文字	8	93	100		S^A-S	出荷日付(西暦8桁 xxxxxxxx)
13	納品-返品伝票日付	文字	8	101	108		S^A-S	納品-返品伝票日付(西暦8桁 xxxxxxxx)
14	発注NO.	文字	10	109	118		S^A-S	発注者-指定NO. 発注NO.(受発注データの発注NO.に対応)
15	発注区分	文字	4	119	122		S^A-S	発注者の発注区分に使用(受発注データの発注区分に対応)
16	メーカー略号	文字	3	123	125		S^A-S	JSR指定メーカー略号
17	納品元品番	文字	10	126	135		S^A-S	通常はメーカーが使用している品番:カゲウ 商品カ・商品マスタ- 納品書表記と一致してること
18	カラーコード	文字	10	136	145		S^A-S	JANコードに対応する単品(品番 カラー・サイズ)のカラーコード・カ-名 カ-略号等:カゲウ 商品カ・商品マスタ- 納品書表記と一致してること
19	サイズコード	文字	10	146	155		S^A-S	JANコードに対応する単品(品番 カラー・サイズ)のサイズコード・サイズ名 サイズ略号等:カゲウ 商品カ・商品マスタ- 納品書表記と一致してること
20	単位	文字	3	156	158		S^A-S	取引される時の単位(ロ-ド、略号等) #コードは 参考資料 2.」を参照(商品規格及び単品サイズの単位コード表)
21	取引単価	文字	7	159	165		㊦(0)	取引単位当たりの単価
22	標準上代	文字	7	166	172		㊦(0)	小売標準単位/小売単位
23	ブランド略名	文字	10	173	182		S^A-S	商品メーカーがつけているブランド略名:半角のみ
24	商品略名	文字	15	183	197		S^A-S	メーカー商品略名:納品書表記-小売店でのレジ-表記用
25	JANロ-ド	文字	13	198	210		S^A-S	JAN EAN・UPCコード(ロ-ド+キガされたもの)
26	納品数	文字	5	211	215		㊦(0)	納品数 (-9999 ~9999)
27	メーカー伝票NO.	文字	10	216	225		S^A-S	メーカーから販売店等への直送の場合の伝票NO.(商品と納品伝票が帳合を繰りしないロ-ド)
28	元伝NO.	文字	10	226	235		S^A-S	取消、訂正伝票等の場合の元伝NO.

235

レコード長
 伝票区分例
 (これは参考例でありこのコードに制約されるものではありません。)

通常	取消	訂正
納品	100	101
返品	110	111
値引	120	121
値増	130	131

(3) POSデータ(業)

ファイル名:SRメーカー略号+SKPUM.TXT

ファイルの保存形式は、TXT形式とし、半角179バイトの固定長とする。属性は全て文字とし、未使用項目もスペースないしゼロ(0)で埋め省略しない。

NO.	項目名	属性	バイト数	開始位置	終了位置	必須	桁理め	補足
1	レコード区分	文字	1	1	1		スペース	D:固定
2	データ区分	文字	2	2	3		スペース	43:固定
3	送信先会社 部署コード	文字	13	4	16		スペース	送信先コード(ローバルロケーションナンバ-)
4	送信先企業 部署略名	文字	20	17	36		スペース	送信先企業略名
5	販売店会社 部署コード	文字	13	37	49		スペース	販売店コード(ローバルロケーションナンバ-)
6	販売店会社 部署略名	文字	20	50	69		スペース	販売店略名(商品受入先店舗名)
7	売上日	文字	8	70	77		スペース	販売された日をあらわす。
8	店舗コード	文字	4	78	81		スペース	店舗番号
9	店舗名	文字	20	82	101		スペース	店舗名
10	JANコード	文字	13	102	114		スペース	JAN EAN・UPCコード(0-7-7-キنگされたもの)
11	メーカー-品番	文字	10	115	124		スペース	メーカーが使用している品番・カタログ 商品タグ 商品マスター 納品書表記と一致 すること
12	品名	文字	25	125	149		スペース	品番に対応する品名:半角のみ
13	カラーコード	文字	10	150	159		スペース	JANコードに対応する単品(品番・カラー・サイズ)のカラーコード・カラー名 カラー略号等 :カタログ 商品タグ 商品マスター 納品書表記と一致すること
14	サイズコード	文字	10	160	169		スペース	JANコードに対応する単品(品番・カラー・サイズ)のサイズコード・サイズ名 サイズ略号等 :カタログ 商品タグ 商品マスター 納品書表記と一致すること
15	売上数量	文字	3	170	172		ゼロ(0)	販売数量
16	売上金額	文字	7	173	179		ゼロ(0)	その商品の販売価格

179

レコード長

第 8 章 JSR 企業略称コードの設定

ここで定義する企業略称コード（英数字：3桁）は、財団法人流通システム開発センター流通コードセンターが付番している共通取引先コードとは異なる。

この企業略称コードは、スポーツ用品業界において今後電子カタログ等の商品画像のデータ交換する場合に、JANコードでは1社が複数取得している場合には企業の特定が難しい。

したがって、画像データ交換において、企業を特定するためにも新たな企業コードが必要と考えて設定した。

1. 設定対象企業

今回設定した対象企業は、社団法人日本スポーツ用品工業協会加盟企業並びにスポーツ用品情報システム研究会（S研）への参加企業である。なお名簿一覧については参考資料を参照。

2. 付番管理体制

スポーツ用品業界では、昨今の消費者ニーズの多様化に対して新規メーカーや海外メーカーの参入が増大している。今後、未登録メーカーに対しても企業略称コードの付番管理が必要である。

付番管理は日本スポーツ用品協同組合連合会（JSR）で行い、その体制はJSR事務局に置く予定である。

なお、登録手続き、付番交付並びに告知については早急に検討のうえ決定する予定である。